

●うっかり事例集——「わき見」「漫然運転」編

興味・関心のある物へのわき見

- ・テニス好きでテニスコートの横を通りとき目がいって
- ・ゴルフ場を見ながら走行していて
- ・釣り好きで、河原の釣り人を見ていて
- ・同業他社の社屋の看板を見ていて
- ・歩道を歩くきれいな女性に見とれて
- ・通り過ぎたスポーツカーをミラーの中で目で追って
- ・交差点手前のショーウィンドウが気になって
- ・対向車線のライバル会社の車を見ていて
- ・犬好きで、歩道を散歩している犬の姿を見ていて



車内の物や人へのわき見

- ・車に乗せた赤ちゃんが泣いたので目をやって
- ・助手席に積んでいた弁当を入れた袋が崩れそうになったので、気を取られて
- ・助手席に立てかけた傘が倒れてきたのでそれを直そうとして
- ・缶コーヒーがこぼれそうになり、気になって
- ・助手席で眠る妻を起こそうとして
- ・後部座席から前に移ろうとする子どもを注意していて
- ・座席に乗せたペットの犬を見ていて
- ・助手席の友人が、「こんな写メールがきたよ」と携帯を示したのを見て



運転に関係するわき見

- ・燃料が無くなりそうなので、ガソリンスタンドを探しながら走行していて
- ・道に迷ったのに気づき、どう戻ればよいだろうかと見回していて
- ・脇道に止めて携帯電話をかけようと思い、止まる場所を探していて
- ・同乗する妻に「あれが親戚の家だ」と教えようとしていて
- ・目的地の遊園地に近づき、「ねえ、あの塔かな?」と子どもが言ったので、そちらの方向を見て
- ・コンビニエンスストアで買い物をしようと、対向車線側の店も探していて



うと、対向車線側の店も探していて

運転中、物思い等で漫然とする

- ・友人達とコンサートに行くとき、話に夢中になって、直前まで右折する交差点に気がつかずに慌てて
- ・トンネルが続く高速道路で、ボンヤリして車間距離が知らない間に詰まって
- ・長い直線道路を前車に追従しているうちに、信号を見ないで前車につられて走行
- ・長距離ドライブの帰り、同乗者がみんな寝てしまい頭がボーッとしてきて
- ・レストランの駐車場から出るとき、頭の中でお釣りの計算をしながら左右を確認せず道路に出ようとして

